

平成 29 年 7 月 25 日

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル

代表取締役社長 米澤 栄二

「Eco-Friendly & SMART CAMPUS」を講演 インドネシア国ハサヌディン大学工学部との MOA（合意書）締結

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二）は、平成 29 年 7 月 21 日、インドネシア国ハサヌディン大学工学部（Universitas Hasanuddin Faculty of Engineering: UNHAS FE）で開催された、国際シンポジウム『on Water Resources Infrastructure Toward Eco-Friendly and Smart Campus in UNHAS FE Gowa』に参加いたしました。本シンポジウムはハサヌディン大学工学部と弊社の持株会社である株式会社 ACK グループ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）が共催し、国際協力機構（JICA）等に後援いただきました。

弊社は、エコキャンパスをコンセプトとしたハサヌディン大学工学部整備事業（円借款）において、プロジェクトマネジメントコンサルタントとして、計画立案から詳細設計、施工監理、機材調達支援までを実施しております。また、ACK グループ重点化事業として、大学校舎にスマートメーターや小規模簡易太陽光発電システムを導入することで、エネルギー消費量の見える化と、エネルギー管理システムの効率化を図るスマート化事業を提案し、ファシリティーマネジメントを実施しております。

本シンポジウムでは、「Eco-Friendly & Smart Campus」と題して、プロジェクトによる効果に加えて、SDGs（持続可能な開発目標）及び仙台防災枠組 2015-2030 を踏まえた、周辺インフラ脆弱地域における環境、文化、防災面での公共施設の役割等を講演いたしました。また、北海道大学成田吉弘名誉教授（現 JICA 専門家）、九州大学島谷幸宏教授（環境社会部門水圏持続学講座）も講演され、公共事業省、地方防災局、地方開発企画庁、地方水道公社等のインドネシア国関係者やハサヌディン大学学生など、100 名を超える方々にご参加いただきました。

また、同日、ACK グループとハサヌディン大学工学部は、「環境にやさしいスマートキャンパス」の実現に向けて、ハサヌディン大学工学部構内で、①小水力発電・地中熱発電等を利用した分散型再生可能エネルギーネットワークシステムの構築、②地下雨水貯蔵タンクを利用した再生水利用システムの構築の共同実証に関する MOA（合意書）を締結いたしました。



シンポジウムにおける講演の様子
「題:Eco-Friendly & Smart Campus in UNHAS FE」
発表者: 弊社兼 ACKG 石川祥平 事業責任者



MOA 調印式にて：
右 UNHAS 工学部長 Dr. Ing. Ir. Wahyu 氏
左 弊社兼 ACKG 石川祥平 事業責任者

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル 担当 広報・渉外室 富田早季
TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020 URL:<http://www.oriconsulglobal.com/>